

科 目 名：骨学・筋学	講義回数：12/24
講義テーマ：骨学実習（3） 椎骨 … 頸椎と胸椎	担当者：教員全員 解剖学（マクロ）
医学教育モデル・コア・カリキュラム平成28年度改訂版（p.41） 学修目標 D-4-1) 構造と機能 ③ 脊柱の構成と機能を説明できる。	
求められる事前学習 LMS の課題 1 2	所要時間の目安・（ 20 分 ）
求められる事後学習 特になし	所要時間の目安・（ ）

要点

骨学実習③ 椎骨のスケッチ --- 両端ではなく、中位にあるものを選ぶ。

- ・ 頸椎 C4 or C5
- ・ 胸椎 T5 or T6 or T7

各骨について描く面を、実習開始時に2面ずつ指定する。

※スケッチ開始前にすべきこと：

- 各椎骨で基本構造がどれか確認したか？
- 頸椎、胸椎の特徴（特殊構造）を確認したか？
- 観察項目チェックリストを用いて復習をしたか？

※禁止事項：①骨標本の**撮影**、②骨標本の**破損**、③他学生（上級生含む）の**スケッチのコピー**

提出スケッチの評価基準

- 1 プロポーション（全体の形のバランス）が正確であること
- 2 細部の形質が正確に描かれていること
- 3 名称が正しく記載されていること（日本語と英語を併記）
- 4 所見を出来るだけ書き込むこと（図譜や教科書にある標準的な形態との相違点など）
- 5 実物を描いていないことが明白な場合、評価はD（⇒再提出）

以下、詳細はシラバス 18, 20/24 を参照。

予習スケッチ ---- LMS で指定した図を以下の余白に描くこと。